

USB フラッシュメモリのフォーマットのお願い

「Err6（データ保存失敗）」「データ破損（文字化け）」等の不具合の発生の可能性を低くするため、修理完了品（MiniⅢ+u 本体）のご使用前に USB メモリ（USB フラッシュメモリ）のフォーマットを実行していただきますようお願い申し上げます。

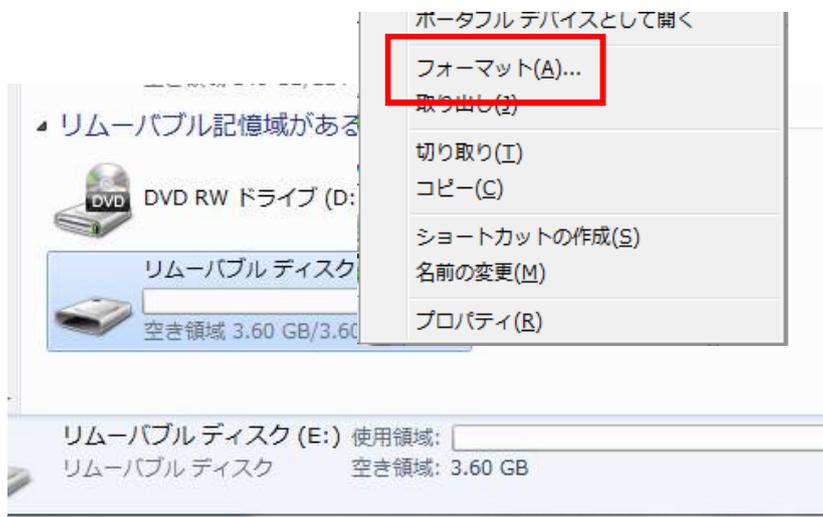
重要：フォーマットすると、保存されていたデータは消去されてしまいます。パソコンのデスクトップなどに保存用のフォルダを作り、フォーマット前に USB メモリ内のファイルをコピーしておいてください。

フォーマット手順

フォーマットしたい USB メモリをパソコンに接続します。

1. タスクバー上にある「エクスプローラー」をクリックし、左サイドバーにある「PC」をクリックします。
2. USB メモリ内のファイルのバックアップが済んでいない場合は先にダブルクリックで USB メモリ（リムーバブルディスク）を開き、保存されているファイルをデスクトップ等にコピー（バックアップ）してください。

USB メモリ内のファイルのバックアップが済んでいる場合は、フォーマットしたい USB メモリ（リムーバブルディスク）を右クリックし、表示された一覧から「フォーマット」をクリックします。



3. 「フォーマット」が表示されます。

「デバイスの規定値を復元する」をクリックし、「ファイルシステム」が「FAT32」、「アロケーションユニットサイズ」が「標準のアロケーションサイズ」となったことを確認します。クイックフォーマットのチェックをはずします。



※ 「クイックフォーマット」のチェックをはずしてください。

クイックフォーマットを選択すると、通常のフォーマットより短時間で行うことができますが、不良セクタのエラーチェックが行われません。チェックをはずし、完全フォーマットを行ってください。

設定の確認が終わったら「開始」をクリックします。

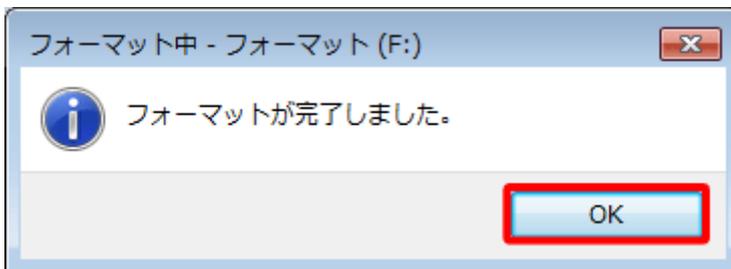
4. 「警告：フォーマットするとこのディスクのすべてのデータが消去されます。」というメッセージが表示されます。

「OK」をクリックします。



5. フォーマットが終了すると、「フォーマットが完了しました。」というメッセージが表示されます。

「OK」をクリックし、フォーマットを終了します。

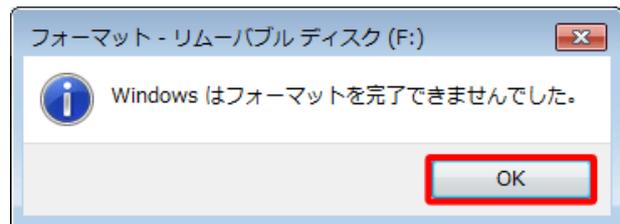


USB メモリのデータがすべて削除され、フォーマットが完了したことを確認してください。

※注意: フォーマット完了前に USB メモリをパソコンから抜かないでください。故障の原因となります。

補足

「Windowsはフォーマットを完了できませんでした。」という画面が表示された場合は、「OK」をクリックし、再度手順 4 から同様の操作を行ってください。



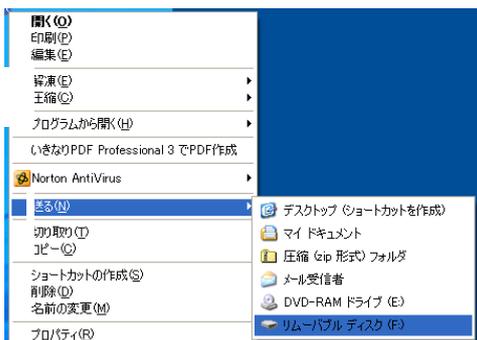
6. バックアップをとっておいたファ

イルから、最低限測定に必要なファイルのみを USB メモリに保存し直します。

「PU_USER.txt」と、当月分の測定結果ファイル「yyyy_mm.TXT」

「yyyy_mm.HTM」（“yyyy”は年、“mm”は月を表す数字が入っています）を USB

メモリに保存します。



保存したいファイルを右クリックし、「送る」から「リムーバブルディスク」を選ぶ方法が簡単です。

※USB メモリのランプが点滅している間はパソコンから USB メモリを抜かないでください。データが破損・消失することがあります。タスクトレイ（通知領域）にあるアイコンをクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」から取り外されることを推奨致します。



以上で作業は完了です。

※USB メモリに保存し直した測定結果ファイルに万一異常があった場合は、「Err6」等が再発する可能性が高くなります。上記手順の通りフォーマット作業を行った USB メモリをご使用中に「Err6」等が発生した場合は、データの修復を行いますのでフリーダイヤルまでご連絡ください。

※データの修復は可能な範囲で行います。破損の度合いにより、復旧できないデータもございますので、大変申し訳ございませんがあらかじめご了承ください。

お問合せはフリーダイヤルまで

0120-609-100

東海電子サポートグループ